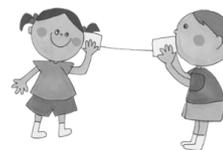


いと 糸でんわ



～秘密～

秘密という言葉聞いて、あなたは良い(ポジティブな)イメージを持ちますか。それとも悪い(ネガティブな)イメージを持ちますか。

秘密には、色々な秘密があります。誰にも知られたくない自分だけの秘密、この人だけには知られたくない自分の秘密。また、友だちから聞いた友だちの秘密。秘密は公開しなければ、誰にも知られずに、秘密のままです。公開された秘密は、秘密ではなくなります。

子どもから大人へ成長するにしたがって、少なからず秘密が増えていきます。それとほぼ同じだけ秘密は公開されていきます。秘密は、泡のように生まれては、公開されて消えていきます。もちろん、秘密の中には、泡にはならず、水面に上がることなく、深い底へと沈んでいく秘密もあるでしょう。

こんな風に考えると、どうしても秘密に対してネガティブなイメージをもつ人が多くなるでしょう。秘密を探る、秘密をばらされる、秘密を握られるといったように考えると、秘密に対しては嫌なことしか浮かんできません。もしかすると、今、学校や SNS、世の中では、泡のように秘密が生まれては、探られて、強く握られて、公開されては消えていっているのではないのでしょうか。そのため、個人情報保護法という法律を略して、「個人情報だ！」と自分の名札を握りしめながら小学生までいう時代になりました。このまま、過剰に秘密を保護される世の中になれば、顔という個人情報を守るために仮面を被り、指紋という個人情報を盗まれないように手袋をする時代がすぐそばまで来ているのかもしれない。

しかし、秘密を自分(私)に置き換えて考えてみると、少しイメージが変わります。誰にも知られたくない自分だけの私、この人だけには知られたくない私。また、友だちが持っている私のイメージ。この私を公開する。

さらに、ポジティブに考えるために、公開という言葉を手帳に置き換えてみましょう。そうすれば、アサーションという言葉が浮かんできませんか。

3月18日には、相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちを伝えるクラスミーティングがあります。クラスミーティングとは、誰にも知られたくない自分だけの秘密を公開する場ではありません。言いたくないことは言わなくて大丈夫です。ただ自分の伝えたいこと、知ってもらいたいことを伝える場であり、それをしっかりと受け止める場がクラスミーティングです。クラスミーティングで一番大切なこと、そして、全員で学んで欲しいことは、友だちのことを受け止めることです。自分の伝える力と、友だちのことを受け止める力を身に付けるためにクラスミーティングという場があります